

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	3G-2202
研究課題名	地域特性によるプラスチック回収資源化システムのモデル・シナリオ形成
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	福岡大学
研究代表者名	鈴木 慎也

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

福岡県内の3つの自治体において、プラスチックの回収および再資源化をめざして、回収主体、回収方法、再資源化の方法などの実態に関する調査結果は、今後の環境施策に活かせるものであり、有益な研究であると評価される。一方、本研究の成果が、全国規模で一般化されるものかどうかについては、議論の余地を残している。今後、本研究の成果が、全国に一般化されるかどうかの検証を行うとともに、行政・地域・民間の協働による最適な回収システムの提案に結びつくことを期待したい。また、研究の成果が引用され、社会利用されるためにも、論文化は必須であり、早急な論文発表を期待したい。